

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3年 3月 21日

公表:令和 3年 3月 29日

事業所名 たけっこ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	3		定員に対して訓練室のスペースは適正です。使用する遊具の数に応じて最大限支援ができるような環境を整えていきます。
	2 職員の配置数は適切である	7	2		スタッフの配置人数は適正です。大型遊具等を使用する際の安全確保のために必要なスタッフの配置を検討していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされている	9			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	1	日々しっかりと清掃に取り組んでいます。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2		コロナ対策の観点から、非常勤スタッフの意見がなかなか聞けていない部分もあるので、非常勤スタッフの意見もしっかりと取り入れられるように、ミーティングの仕方を工夫していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	6		外部評価については、今後様々な手法を取り入れていき、さらなる業務改善に繋げていきたいです。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	1		
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	1		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	1		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	3		よりスタッフ同士で提案し合えるような時間を設けていけるようにしていきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1	その日ご利用者様の特性に合わせた活動に取り組めるようにしています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	1		作成した計画をスタッフ全員でしっかりと共有できるように、広く意見を取り入れながら作成していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2		コロナの関係でミーティングが減っていますが、新しいスタッフを含め、全員がしっかりと支援内容を共有できるようなミーティングを行っていきたい。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2		振り返りは行っているが、感染症対策の観点から、参加できていないスタッフもいるので、できるだけ多くのスタッフが参加できるように調整していきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	1			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	1			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	3			より連携しながら、相互にお子様の発達支援や療育の質を高めていけるようにしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	4			コロナの間は交流が難しいので、終息後には活動の機会が出来ればと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	4			感染症対策に留意しながら、参加するスタッフが限定的にならないように配慮していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			お迎え時やお帳面などで状況や課題についてはお話をさせていただいています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	9			保護者様の対応の仕方について、ご利用者様の発達に沿って詳しいスタッフが説明できるようにしています。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			契約時に丁寧な説明を心がけています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			相談の時間を設けるなどして対応させていただいております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	8			保護者様同士の交流の場として今まで以上に提供させて頂けますことを検討し、ご利用者様のより良い支援へ繋げていけるようにしていきたいと思っております。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9			相談や申し入れに対しては、しっかりと時間を設けられるようにスケジュールの調整を日々しております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9			会報の作成をし、配布させていただいております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9			スタッフには取り扱いに十分注意するように日々伝えております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	2		クリスマスのイベントなど、地域の方々と行事の共有を行っています。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	1		感染症対策として換気システムの導入を行っています。	保護者様にも緊急時の対応等を更に理解して頂けるように、掲示物や会報等でお知らせしていきたいと思っております。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1			新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるようにしていきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	1		保護者様に事前にヒアリングしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1		アレルギーについては事前にヒアリングしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	2			ケア後に話す時間は設けている。スタッフ全員が周知できるように細かい事例集の作成を検討していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1			新しいスタッフにも周知できるように、今後も研修を行い、スタッフ全員が理解しているようにします。

47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
----	--	--	--	----------------------	--

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3年 3月 21日

公表:令和 3年 3月 29日

事業所名 たけっこ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	2	様々なスペースを用いて支援を行っています。	
	2 職員の配置数は適切である	7	2		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	5		外部評価については、今後様々な手法を取り入れていき、さらなる業務改善に繋げていきたいです。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	2		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	3		よりスタッフ同士で提案し合えるような時間を設けていけるようにしていきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1	その日のご利用者様の特性に合わせた活動に取り組めるようにしています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	2	季節に応じた行事を取り入れながら支援を行っています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	2		作成した計画をスタッフ全員でしっかりと共有できるように、広く意見を取り入れながら作成していきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2		コロナの関係でミーティングが減っていますが、新しいスタッフを含め、全員がしっかりと支援内容を共有できるようなミーティングを行ってきたい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2		振り返りは行っているが、感染症対策の観点から全員が参加できていないことがあるので、日々全員が参加できるような工夫を行っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	3		モニタリングを様々なスタッフの意見を取り入れて行えるように工夫していきます。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8	1			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	2		より連携しながら、相互にお子様の発達支援や療育の質を高めていけるようにしていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	2	就労先への情報提供を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	3		より連携しながら、相互にお子様の発達支援や療育の質を高めていけるようにしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			9	感染症等の状況を見ながら、必要性を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	3		感染症対策の観点から、参加するスタッフが限られていたが、できるだけ多くのスタッフが参加できるようにしていきたいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		お迎え時やお帳面などで状況や課題についてはお話しさせていただいています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	1	保護者様の対応の仕方について、ご利用児の発達に沿って詳しいスタッフが説明できるようにしています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時に丁寧な説明を心がけています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		相談の時間を設けるなどして対応させていただいております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			9	保護者様同士の交流の場として今まで以上に提供させて頂くことを検討し、ご利用様のより良い支援へ繋げていけるようにしていきたいと思っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		会報の作成をし、配布させていただいております。	
	35	個人情報に十分注意している	9		スタッフには取り扱いに十分注意するように日々伝えております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	2	クリスマスのイベントなど、地域の方々と行事の共有を行っています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2	感染症対策として換気システムの導入を行っています。	保護者様にも緊急時の対応等を更に理解して頂けるように、掲示物や会報等でお知らせしていきたいと思っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1		新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるようにしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1		新しいスタッフにも周知できるように、今後も研修を行い、スタッフ全員が理解していけるようにします。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	アレルギーについては事前にヒアリングしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	2		ケア後に話す時間は設けている。スタッフ全員が周知できるように細かい事例集の作成を検討していきます。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3年 3月 20日

公表:令和 3年 3月 29日

事業所名 たけっこJ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2 職員の配置数は適切である	7	1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		コロナ対策として、各部屋、トイレにサーキュレーター、換気扇を設置しました。	日々清掃、換気に気を付けていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7		外部評価については、今後様々な手法を取り入れていき、さらなる業務改善に繋げていけるように検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	12 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		親御様の目標、課題が達成できるように、スタッフ同士でしっかりと話し合って支援を行っています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		支援内容はスタッフで共有していけるように普段から話し合っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	その日利用がある利用者様の発達段階に合わせたプログラムを広く意見を取り入れて作成しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		その日の役割はミーティングを行ってその際に伝えていきます。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1		コロナ禍で振り返りに参加できていないスタッフもいるので、スケジュールを調整して行っていきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	1		今後もSM検査等を定期的に行い、エビデンスに基づき保護者様としっかり話し合っていきます。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8				
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	2			コロナの間は交流が難しいので、終息後には活動の機会が出来ればと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	2			コロナ禍の影響で一定のスタッフの参加になっているので、まんべんなくスタッフが参加できる環境を整えていきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			お迎え時など、利用時の様子を伝えながら、保護者様の意見を聞き、お互いに現状の把握ができるように話をする時間を設けています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	8			保護者様の対応の仕方を、ニーズに沿って詳しいスタッフが説明できるようにしています。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			契約時に丁寧な説明を心がけています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8				親御様等との話し合いにより、課題となる事案についてしっかり話し合っています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			相談の時間を設けるなどして対応させていただいております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7			保護者様同士の交流の場として今まで以上に提供させて頂けますことを検討し、ご利用者様のより良い支援へ繋げていけるようにしていきたいと思っております。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			相談や申し入れに対してはその時間を設けられるようにスケジュールの調整を日々しております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			会報の作成をし、配布させていただいております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8			スタッフには取り扱いに十分注意するように教育しております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8			クリスマスのイベントなど、地域の方々と行事の共有を行っています。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	AEDの設置や、感染症対策として換気システムの導入を行っています。	保護者様にも緊急時の対応等を更に理解して頂けるように、掲示物や会報を用いてお知らせしていきたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるようにしていきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1	服薬等の取り扱いについて、スタッフ皆が共有できる資料を作成している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		アレルギーについては事前にヒアリングしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	毎日の業務日誌にヒヤリハットがあった場合は記入しています。	その日の振り返りで、危険箇所についてはしっかりと討議していきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		今後も研修を行い、スタッフ全員が理解していけるようにします。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			該当するご利用者様はいらっしゃいません。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3年 3月 20日

公表:令和 3年 3月 29日

事業所名 たけっこJ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	7	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7		外部評価については、今後様々な手法を取り入れていき、さらなる業務改善に繋げていけるように検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		保護者様のニーズを踏まえた支援計画の立案を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		現在もチームでの立案は行っているが、より幅広い意見を取り入れられるようにしていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8		夏はプールやお祭りといった、季節に合わせた活動を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	ご利用者様の様子に応じて、細かく個別や集団の活動を計画しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		その日の役割はミーティングを行ってその際に伝えています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1		コロナの影響で振り返りに参加できていないスタッフもいるので、スケジュールを調整して行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7	1		新しいスタッフにもガイドラインについて理解してもらえよう説明の場をしっかりと設けていきたい。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		送迎時の対応等については相談して決めさせていただいています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	7		感染症等の状況を見ながら、必要性を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		お迎え時など、利用時の様子を伝えながら、保護者様の意見を聞き、お互いに現状の把握ができるように話をする時間を設けています。	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	1	保護者さまの対応の仕方を、ニーズに沿って詳しいスタッフが説明できるようにしています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	契約時に丁寧な説明を心がけています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		相談の時間を設けるなどして対応させていただいております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7		保護者様同士の交流の場として今まで以上に提供させて頂けますことを検討し、ご利用者様のより良い支援へ繋げていけるようにしていきたいと思っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		会報の作成をし、配布させていただいております。	
	35	個人情報に十分注意している	8		スタッフには取り扱いに十分注意するように教育しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8		クリスマスのイベントなど、地域の方々と行事の共有を行っています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1	AEDの設置や、感染症対策として換気システムの導入を行っています。	保護者様にも緊急時の対応等を更に理解して頂けるように、掲示物や会報を用いてお知らせしていきたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるようにしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			今後も研修を行い、スタッフ全員が理解していけるようにします。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	アレルギーについては事前にヒアリングしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	毎日の業務日誌にヒヤリハットがあった場合は記入しています。	その日の振り返りで、危険箇所についてはしっかりと討議していき、より細かい事例集を作成していきたいです。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 2年 12月 25日

公表: 令和 3年 3月 29日

事業所名 たけっこ稲沢

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2 職員の配置数は適切である	8			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		・イラストや写真等で、視覚的に分かりやすく構造化出来ていると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している				
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・月に2回、臨床発達心理士の方の研修会に参加しています。	・様々な講師の話を開けるように、研修会の参加する機会を今まで以上に設ける。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8		・スタッフ間で日々、活動内容を立案しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		・固定化しないように、毎日の活動記録をつけています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2	・活動、イベント毎に担当を割り振り、取り組んでいます。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	・振り返り、反省、ヒヤリハットを毎日記入しています。	・スタッフ全員が集まって話す機会が少ないため、今まで以上に設ける。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		・日々の課題は、次に繋がるようにスタッフ間で討議しています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	3		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	3		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	・担当者会議等で情報の共有を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	・担当者会議等で情報の共有を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	6		・コロナの渦中、困難である。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	3		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	2		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		・保護者の方から要望があれば、臨床発達心理士による相談の機会を設けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7		
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	2		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	2		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		・個人のケース記録の表紙に、見やすく分かるように記載してあります。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		・日々、一日を振り返って、ヒヤリハット集を作成しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 2年 12月 25日

公表:令和 3年 3月 29日

事業所名

たけっこ稲沢

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	8			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8		・フロア毎に段差はなく、バリアフリー化出来ています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・月に2回、臨床発達心理士の研修会に参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		・スタッフ間で活動内容を立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		・固定化しないように、毎日の記録をつけています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	・活動、イベント毎に担当を割り振り取り組んでいます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	・一日の振り返り、反省、ヒヤリハットを記入しています。	・職員が全員で集まって話す機会が少ないため、今まで以上に話す機会を設ける。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		・日々の課題は繋がるように、スタッフ間で討議しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7	1			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1	・行事予定等の確認は、保護者の方を通して行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	3	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1	・担当者会議等で、情報の共有を図っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	7	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	1	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	3	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		・要望があれば、臨床発達心理士による相談の機会を設けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4	
	35	個人情報に十分注意している	8		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	3		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	・個人のケース記録の表紙に、見てすぐに分かるように記載してあります。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		・日々、一日の振り返りを行い、ヒヤリハット集を作成しています。	

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3年 3月 18日

公表:令和 3年 3月 29日

事業所名 たけっこS

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善日程
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		室内のスペースは十分な広さがあります。	療育内容によっては、施設内の広い駐車場も活用していく。
	2 職員の配置数は適切である	7	1	職員の配置は適正です。	スタッフがやりたいと思っている大型遊具等を使用する際の安全確保のために必要なスタッフの配置を検討していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		玄関がフラットになっていたり、階段に手すりがあったりするなどバリアフリー化されている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		換気システム、空気清浄機により清潔な環境を整えている。	日々の換気、清掃をしっかりと行っていく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	ケア後に職員でミーティングを行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8		外部評価については、今後様々な手法を取り入れていき、さらなる業務改善に繋げていけるように検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	1		
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		支援計画に沿った支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2		現在もチームでの立案は行っているが、より幅広い意見を取り入れられるようにしていきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		ミーティングや反省会を通して支援のバリエーションを増やしていきます。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			作成した計画をスタッフ全員でしっかりと共有できるように、広く意見を取り入れながら作成していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	ケア前にミーティングを行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2		ケア後もミーティングを行っているが、コロナの影響で参加できていないスタッフもいるので、方法などを調整していきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1		支援の検証については、平日など時間がある時にできるだけ多く設けていきたい。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		コロナで会議の回数は激減しましたが、開催されるときは事前に取りまとめ参加しています。	今後もしっかりと参画していく。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	1	コロナで回数は激減しましたが、できる限り情報共有をしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2			より連携しながら、相互にお子様の発達支援や療育の質を高めていけるようにしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4			コロナの間は交流が難しいので、終息後には活動の機会が出来ればと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	3			コロナの影響で参加するスタッフが限られているが、スタッフがまんべんなく参加できるように配慮していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や課題について共通理解を持っている	7	1	1	送迎時など、利用時の様子を伝えながら、保護者様の意見を聞き、お互いに現状の把握ができるように話をする時間を設けています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	1	1	保護者さまの対応の仕方を、ニーズに沿って詳しいスタッフが説明できるようにしています。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	1	契約時に丁寧な説明を心がけています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			相談の時間を設けたり、支援計画の説明時等で対応させていただいております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			8		保護者様同士の交流の場として今まで以上に提供させて頂けますことを検討し、ご利用者様のより良い支援へ繋げていけるようにしていきたいと思っております。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			相談に申し入れに対しては、しっかりと時間を設けられるようにスケジュールの調整を行っています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			写真や会報の作成をし、配布させていただいております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8			取り扱いに十分注意するようにしっかりと教育しております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2	2	イベントの際は、地域の方々と行事の共有を行っています。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	2	感染症対策として換気システムの導入を行っています。	保護者様にも緊急時の対応等を更に理解して頂けるように、掲示物や会報等でお知らせしていきたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	2		新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるようにしていきたい。また、あらゆる状況を想定した訓練も行っていきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		保護者様に事前にヒアリングしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	アレルギーについては事前にヒアリングしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	3	毎日の業務日誌にヒヤリハットがあった場合は記入しています。	ケア後に話す時間は設けている。スタッフ全員が周知できるように細かい事例集を作成していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		新しいスタッフにも周知できるように、今後も研修を行い、スタッフ全員が理解していけるようにします。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			該当するご利用者様はいらっしゃいません。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3年 3月 18日

公表:令和 3年 3月 29日

事業所名 たけっこS

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		室内のスペースは十分な広さがあります。	療育内容によっては、施設内の広い駐車場も活用していく。
	2 職員の配置数は適切である	6	2	職員の配置は適正です。	スタッフがやりたいと思っている大型遊具等を使用する際の安全確保のために必要なスタッフの配置を検討していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8		玄関がフラットになっていたり、階段に手すりがあつたりするなどバリアフリー化されている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8		外部評価については、今後様々な手法を取り入れていき、さらなる業務改善に繋げていきたいです。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	保護者様の意見やニーズを踏まえた支援計画の立案を行っています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2		現在もチームでの立案は行っているが、より幅広い意見を取り入れられるように工夫していきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		職員間で話し合いながら、遊具の購入をしたり、新しい遊びの提案を行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	休日や長期休暇には制作活動も積極的に取り組んでいる。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		ご利用者様の様子に応じて、細かく個別や集団の活動を計画しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2	ケア前にミーティングを行っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2		ケア後にもミーティングを行っているが、コロナの影響により参加できていないスタッフもいるので、行う方法などを調整していきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1		支援の検証については、平日など時間がある時にもっと設けていきたい。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1		モニタリングを様々なスタッフの意見を取り入れて行えるように工夫していきます。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	2		新しいスタッフにもガイドラインについて理解してもらえらるような説明の場をしっかりと設けていきたい。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		送迎時の対応等については相談して決めさせていただいています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当するご利用者はいらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	4		保育園等との情報共有は少ないと感じるので、より連携できるようにしていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				該当するご利用者はいらっしゃいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8		感染症等の状況を見ながら、必要性を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	3		感染症対策に留意しながら、参加するスタッフが限定的にならないように配慮していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			送迎時など、利用時の様子を伝えながら、保護者様の意見を聞き、お互いに現状の把握ができるように話をする時間を設けています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	3		保護者さまの対応の仕方を、ニーズに沿って詳しいスタッフが説明できるようにしています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			契約時に丁寧な説明を心がけています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			相談の時間を設けるたり、支援計画の説明時等で対応させていただいております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8		保護者様同士の交流の場として今まで以上に提供させて頂けますことを検討し、ご利用者様のより良い支援へ繋げていけるようにしていきたいと思っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			写真や会報の作成をし、配布させていただいております。
	35	個人情報に十分注意している	8			取り扱いに十分注意するようにしっかりと教育しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	1		イベントなどでは地域の方々との共有を行っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1		感染症対策として換気システムの導入を行っています。保護者様にも緊急時の対応等を更に理解して頂けるように、掲示物や会報を用いてお知らせしていきたいと思っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	2		新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるようにしていきたい。また、あらゆる状況を想定した訓練も行っていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		今後も研修を行い、スタッフ全員が理解していけるようにします。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				該当するご利用者はいらっしゃいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1		アレルギーについては事前にヒアリングしています。新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるようにしていきたい。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	3		毎日の業務日誌にヒヤリハットがあった場合は記入しています。その日の振り返りで、危険箇所についてはしっかりと討議し、細かい事例集を作成していきたいです。	